

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月4日 (2016.11.4)

【公開番号】特開2015-68885(P2015-68885A)

【公開日】平成27年4月13日 (2015.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2015-024

【出願番号】特願2013-201045(P2013-201045)

【国際特許分類】

G 0 2 B 26/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/28 (2006.01)

G 0 1 J 3/51 (2006.01)

G 0 1 J 3/26 (2006.01)

G 0 1 N 21/27 (2006.01)

G 0 1 J 3/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/00

G 0 2 B 5/28

G 0 1 J 3/51

G 0 1 J 3/26

G 0 1 N 21/27 Z

G 0 1 J 3/36

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月14日 (2016.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数層を含み、かつ、最表面の層が導電層である第一反射膜と、  
第二反射膜と、

を備え、

前記第一反射膜は、前記第二反射膜に対向する第一領域と、前記第一領域の外周縁から当該第一領域の外に連続する第二領域と、を有し、

前記第二領域の前記導電層の一部は、配線接続が可能な第一端子部であることを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の干渉フィルターにおいて、

前記第二反射膜は、複数層を含み、最表面の層が導電層であるとともに、前記第一反射膜の第一領域に対向する第三領域と、前記第三領域の外周縁から当該第三領域の外に連続する第四領域を有し、

前記第四領域の前記導電層の一部は、配線接続が可能な第二端子部であることを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の干渉フィルターにおいて、

前記第一反射膜が設けられた第一基板と、

前記第二反射膜が設けられ、前記第一基板に対向する第二基板と、

前記第一基板に設けられた第一電極と、  
前記第二基板に設けられ、前記第一電極に対向する第二電極と、  
を備え、  
前記第一電極は、平面視において、前記第一領域の外に設けられ、  
前記第二電極は、前記第二反射膜の前記導電層の上に設けられたことを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の干渉フィルターにおいて、  
前記第一電極と前記第二電極との間の第一ギャップ寸法は、前記第一反射膜の前記第一領域における前記導電層と前記第二反射膜の前記第三領域における前記導電層との間の第二ギャップ寸法よりも小さいことを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の干渉フィルターにおいて、  
前記導電層は、所定波長域に対して透光性を有する金属酸化物であることを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の干渉フィルターにおいて、  
前記端子部には、金属膜が設けられたことを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の干渉フィルターにおいて、  
前記第一反射膜が設けられた第一基板と、  
前記第二反射膜が設けられた第二基板と、  
前記第一基板及び前記第二基板の少なくともいずれか一方に設けられた電極と、を備え、  
前記電極と前記金属膜とが同一素材により構成されたことを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載の干渉フィルターにおいて、  
前記第二反射膜が設けられた第二基板を備え、  
前記第二基板には、前記第一端子部に接続された接続電極が設けられたことを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 9】

請求項 1 から請求項 8 のいずれかに記載の干渉フィルターにおいて、  
前記第一反射膜及び前記第二反射膜は、誘電体多層膜を含むことを特徴とする干渉フィルター。

【請求項 10】

複数層を含む、かつ、最表面の層が導電層である第一反射膜、及び、第二反射膜を備えた干渉フィルターと、  
前記干渉フィルターを収納する筐体と、  
を具備し、  
前記第一反射膜は、前記第二反射膜に対向する第一領域と、前記第一領域の外周縁から当該第一領域の外に連続する第二領域を有し、  
前記第二領域の前記導電層の一部は、配線接続が可能な端子部であることを特徴とする光学フィルターデバイス。

【請求項 11】

複数層を含む、かつ、最表面の層が導電層である第一反射膜、及び、第二反射膜を備えた干渉フィルターと、  
前記干渉フィルターから出射された光を受光する受光部と、  
を具備し、  
前記第一反射膜は、前記第二反射膜に対向する第一領域と、前記第一領域の外周縁から

当該第一領域の外に連続する第二領域を有し、

前記第二領域の前記導電層の一部は、配線接続が可能な端子部であることを特徴とする光学モジュール。

【請求項 12】

複数層を含み、かつ、最表面の層が導電層である第一反射膜、及び、第二反射膜を備えた干渉フィルターと、

前記干渉フィルターを制御する制御部と、  
を備え、

前記第一反射膜は、前記第二反射膜に対向する第一領域と、前記第一領域の外周縁から当該第一領域の外に連続する第二領域を有し、

前記第二領域の前記導電層の一部は、配線接続が可能な端子部であることを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の一態様の干渉フィルターは、複数層を含み、かつ、最表面の層が導電層である第一反射膜と、第二反射膜と、を備え、前記第一反射膜は、前記第二反射膜に対向する第一領域と、前記第一領域の外周縁から当該第一領域の外に連続する第二領域と、を有し、前記第二領域の前記導電層の一部は、配線接続が可能な第一端子部であることを特徴とする。

上記の本発明に係る干渉フィルターは、複数層からなり、かつ、当該複数層の最表面の層が導電層である第一反射膜と、第二反射膜と、を備え、前記第一反射膜は、前記第二反射膜に対向する第一領域と、前記第一領域の外周縁から当該第一領域外に連続する第二領域と、を有し、前記第二領域の前記導電層の一部は、配線接続が可能な端子部であることを特徴とする。